

pxchfon パッケージ

八登崇之 (Takayuki YAT0; aka. “ZR”)

某日

1 はじめに

この文書は pxchfon パッケージの使用例を示したものである。このパッケージでは「明朝」「ゴシック」に対応するフォントをユーザ指定の日本語フォントに置き換えられる。一度インストールしてしまえば、あとは \TeX 文書内でフォントファイル名を直接指定することで任意のフォントが使える。この文書では明朝を「Reggae One」、ゴシックを「Rampart One」に置き換えている。

2 特徴

- ① 既定の和文のフォント（明朝・ゴシック）を指定のものに置き換える。
 - i 既定の欧文ファミリ（rmfamily・sffamily）を和文フォントの従属欧文に置き換える設定も可能。
 - ii 数式フォントは置換されない。
- ② 一度インストールすると、それだけで任意の日本語フォントに適用できる。
 - i 置き換えるフォントは、 \TeX 文書内でファイル名で指定する。
 - ii とても簡単。
- ③ ただし、等幅のフォントしか利用できない。
 - i 欧文も等幅（半角）になってしまう。
 - ii とても残念。
- ④ dvipdfmx（と dvipsvm）専用。
 - i チョット残念。